

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道452号 盤の沢道路・五稜道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道芦別市黄金町(盤の沢道路起点) 至：北海道上川郡美瑛町字ルベシベ(五稜道路終点)				延長	18.5 km
事業概要 一般国道452号は、夕張市を起点とし、旭川市に至る延長約110kmの幹線道路である。 盤の沢道路・五稜道路は、芦別市と美瑛町間の通行不能区間の解消を図り、地域間交流の活性化及び物流効率化等の支援を目的とした、芦別市黄金町から上川郡美瑛町字ルベシベに至る延長18.5kmの事業である。						
H5年度事業化		H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H6年度用地補償着手		H5年度工事着手
全体事業費	約496億円 <small>(盤の沢道路:242億円 五稜道路:254億円)</small>	事業進捗率	約25% 約14%	供用済延長	2.6 km	
計画交通量	4,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 345/515億円 (事業費:307/460億円 維持管理費:37/55億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 521/521億円 (走行時間短縮便益:494/494億円 走行経費減少便益:26/26億円 交通事故減少便益:1.2/1.2億円)	基準年	令和2年	
感度分析の結果：事業全体及び残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=0.9～1.1（交通量±10%） 事業費：B/C=0.95～1.1（事業費±10%） 事業期間：B/C=0.98～1.05（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=1.4～1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.5～1.6（事業期間±20%）						
事業の効果等 事業の必要性及び効果 ①通行不能区間の解消 ・上川中部圏と中空知圏を結ぶ新たなルートが形成され、所要時間短縮が図られることによる移住・定住促進や交流人口拡大などが期待される。 ②拠点空港への利便性向上 ・旭川空港1時間到達圏市町村人口が更に1.5万人増加するなど、周辺市町村から旭川空港への利便性向上が期待される。 ③新たな周遊ルートの形成を支援 ・芦別市と富良野・美瑛観光圏及び旭川空港を結ぶ新たな周遊ルートの形成を支援することで、芦別市を含む周辺市町村の観光入込客数増加が期待される。 ④災害時の緊急輸送ルートの強化 ・富良野市と高度救急医療機関等の交通拠点を結ぶネットワークが形成されるなど、災害時の緊急輸送ルートの強化が期待される。 ⑤物流効率化により地域産業を支援 ・工業団地と旭川空港とのアクセスが容易となることで、販路拡大や空港民営化と相まった物流効率化が期待される。 ⑥合宿誘致による地域活性化の支援 ・新千歳空港や旭川空港からのアクセス利便性が向上することで、合宿受入増加や多様な交流人口増加に伴う地域活性化が期待される。 ⑦救急搬送・一般通院の安定性向上 ・芦別市から旭川市の高次医療施設への新たな安定性の高い搬送ルートが確保され複数のネットワークが形成されるなど、救急搬送及び一般通院の安定性向上が期待される。						

